

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境					0.40		-		3.3
1 音環境				3.3	0.20		-		3.3
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.67		-		
1.2 遮音				-	-		-		
1 開口部遮音性能				-	-		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-		
1.3 吸音		吸音壁、ロックウール化粧吸音ボード(天井)		4.0	0.33		-		
2 温熱環境				3.3	0.47		-		3.3
2.1 室温制御				3.6	0.50		-		
1 室温		夏期25°C・冬期22°C		4.0	0.38		-		
2 外皮性能		[外壁・その他]U:0.82W/m ² K [窓システム]U:4.21W/m ² K sc:0.37		4.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				-	-		-		-
3.1 昼光利用				-	-		-		-
1 昼光率				-	-		-		-
2 方位別開口				-	-		-		-
3 昼光利用設備				-	-		-		-
3.2 グレア対策				-	-		-		-
1 昼光制御				-	-		-		-
3.3 照度				-	-		-		-
3.4 照明制御				-	-		-		-
4 空気質環境				3.3	0.33		-		3.3
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				3.5	0.30		-		
1 換気量		換気量:30m ³ /h・人		4.0	0.50		-		
2 自然換気性能				-	-		-		-
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50		-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		3.4
1 機能性				3.1	0.40		-		3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				-	-		-		-
2 高度情報通信設備対応				-	-		-		-
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観				-	-		-		-
2 リフレッシュスペース				-	-		-		-
3 内装計画				3.0	1.00		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性が高く、維持管理しやすい内装材の採用		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		

2 耐用性・信頼性			3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.8	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)	25%以上の割増	4.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.5	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床タイル20年、壁:ビニルクロス20年、天井:塗装20年	5.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	耐用年数が短くなるダクト系統に、ガルバニウム鋼板を採用	4.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり			-	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	1.00	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出		I-1)イオンふるさとの森づくりの活動の計画の中で、周辺の生物環境を把握し、その特性に基づいて敷地内の生物環境の保全と創出に関わる計画方針を立てている II-1)敷地内にある生物資源の保存(表土)がある III-1)外構緑化指数:20%以上 IV-1)外来種を選定していない IV-2)イオンふるさとの森づくりの活動の計画の中で、自生種の保全に配慮した緑地づくりを行っている IV-3)表層土の保全必要量を定め、植物の生育に十分な土壌の確保した緑地づくり(生育基盤への対応)を行っている IV-4)イオンふるさとの森づくりの活動の計画の中で、野性小動物の生息域の確保に配慮した緑地づくりを行っている	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		1)建物の配置は敷地境界からセットバックさせて圧迫感の軽減を図っている 2)沿道を積極的に植栽し、緑で街並みに彩り、潤いを与えている 5)南側道路面を視点場と設定し、セットバックによる圧迫感の軽減、植栽による修景等により良好な景観形成をしている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3)キャンピー・歩廊を設置し、雨宿り、待合わせに供する等、都市空間の活動上のアメニティ向上に貢献している 4)イベント等で施設内の一部を利用してイベント等を行う計画があり、地域の活動やにぎわいに貢献している 6)外構まわりには、視線を遮るような塀等は設けず、見通しの良い計画としている 8)災害時の一時滞在施設として、防災備蓄倉庫を備えており、飲料水や軽食、館内放送を通じた情報の提供等を行い、地域の快適性の向上に寄与する取組みがある	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	

LR 建築物の環境負荷低減性									3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	-	3.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.82、断熱性能の高い建材の採用	4.8	0.20	-	-	-	-	4.8
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.6	0.50	-	-	-	-	2.6
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	-	3.4
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1	節水	節水型の便器・水栓器具の採用	4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.5	0.60	-	-	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	岩綿吸音板(天井)、磁器質タイル(壁)、ビニル床材(床)	5.0	0.22	-	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能(躯体+軽量鉄骨+仕上材)	4.0	0.22	-	-	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50	-	-	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	-	3.6
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率92%	3.3	0.33	-	-	-	-	3.3
2	地域環境への配慮		3.6	0.33	-	-	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	オール電化	5.0	0.25	-	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
	3 交通負荷抑制	駐輪・駐車場確保、渋滞緩和に配慮した導入計画、荷捌駐車場の確保	5.0	0.25	-	-	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
3	周辺環境への配慮		4.0	0.33	-	-	-	-	4.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		5.0	0.40	-	-	-	-	
	1 騒音	現行の基準の-10dB以上	5.0	1.00	-	-	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満足、配慮事項の過半を満足	5.0	0.70	-	-	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	